

団体名： 西尾みなみ商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価															備考					
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価				今後の展開・改善点等									
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模事業者を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等の経営全般に係る様々な相談への指導をすることにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成する。このほか、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置によって、経営改善に資する指導を行う。	巡回指導 延件数 465件 非会員 3件 実企業 202件 窓口指導 延件数 1093件 非会員 375件 実企業 589件 非会員 361件 創業指導 延件数 3件 非会員 0件 実企業 2件 非会員 0件 課題解決提案件数 30件 経営革新認定件数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 144.5 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)			巡回指導や窓口指導だけでなく、積極的に接触することで現状分析、課題や問題点を明確にし、解決への糸口を見つけ出し、小規模事業者の経営改善を図ることができた。 各種補助金への関心が高く、事業者の補助金慣れが懸念されたが、丁寧に説明することで制度上の理解を得ることができた。	総合評価	A	事業実施評価側の 目標達成度	調査結果 事業者への A	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者の商工会への依存度は高くなっており、また多様化してきている。今後もそれに応えるためにもさらに巡回指導を充実させていきたい。			
		目標数値			1080	実績数値	1561		目標数値	30	実績数値								30	現行どおり		現行どおり		
																							実施方法①	実施方法②
記帳継続指導	商工会職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告・消費税確定申告書の指導を行い、適正な税務申告と経理の目計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	記帳指導事業者数 84件 指導延日数 413日 指導延回数 815回	小規模事業者	指標	記帳指導事業者数 (達成度 102.4 %)			指標	(達成度 %)			起業家や小規模事業者にとって大きな負担でもある記帳や税務に関する事務を商工会がサポートすることができた。今年は特にインボイス2割特例への対応の要望が高かった。	総合評価	A	事業実施評価側の 目標達成度	調査結果 事業者への A	満足度	補足	目標①	目標②	税理士関与の事業者から記帳指導の引き合いが年々多くなっている。懇切丁寧な指導を心掛け、利用者の取込みを図り、適正な決算申告に寄与したい。			
		目標数値			82	実績数値	84		目標数値	実績数値	現行どおり								実施方法①	実施方法②				
																						現行どおり		
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって経営に必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識を習得させるほか、時事的な問題を周知させ、事業者の資質の向上と円滑な事業運営を図る。	・集団指導(3回) 受講者数 67名 ・個別指導(15回) 受講者数 240名 ・広域連携(1回) 受講者数 3名	小規模事業者	指標	講習会参加小規模事業者数 (達成度 77.5 %)			指標	(達成度 %)			定額減税が非常にわかりにくいという要望が多くあり、そのニーズに応えるため早めに講習会を開催したことで、すぐにどうのこうのすることはないことを理解した聴講者も多く、精神的な安定が図られたように感じた。	総合評価	B	事業実施評価側の 目標達成度	調査結果 事業者への B	満足度	補足	目標①	目標②	事業者ニーズを把握したうえで、タイムリーなテーマの選択を熟考していきたい。 講師との日程調整を早めに行い、講習内容等を確定したうえで事業者に広く周知していく。			
		目標数値			400	実績数値	310		目標数値	実績数値	実施方法①								実施方法②					
																				現行どおり				
若手後継者等育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の修得や資質の向上を図るための講習会・研修会を開催し、小規模事業者の振興・発展を図る。	・青年部 部員：55名 講演講習会・役員会・地域振興事業等 27回/年 ・女性部 部員：30名 講演講習会・役員会・地域振興事業等 19回/年	青年部・女性部部員	指標	講習会・地域振興事業等参加回数 (達成度 115.0 %)			指標	(達成度 %)			地域の若手後継者等とのふれあいを通じて、経営者としての刺激を得ることができ、各種講習会を通じて若手後継者としての資質の向上を図ることができ、自身の事業所の振興・発展を図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価側の 目標達成度	調査結果 事業者への B	満足度	補足	目標①	目標②	事業承継をスムーズに進めるためにも、若手後継者の育成は重要。最も必要な事業であることを認識して、支援していきたい。			
		目標数値			40	実績数値	46		目標数値	実績数値	実施方法①								実施方法②					
																				現行どおり				
祭典事業	各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の産業(地域資源、観光資源)のPRを行い、地域の総合的な振興を図る。	参加事業所数 85 6月 仁吉まつり 85 8月 盆踊りの集い 21 9月 ストーンカップ 42 9月 吉良花火大会 18 11月 きらまつり 177	地区内商工業者	指標	祭典事業参加事業所数 (達成度 95.3 %)			指標	(達成度 %)			すべてのイベントが計画どおり開催できた。「イベントを通じて地域の活性化を図り、地域住民の一体感を生み、観光資源のPRする」という目的が果たせたように思う。	総合評価	A	事業実施評価側の 目標達成度	調査結果 事業者への A	満足度	補足	目標①	目標②	イベントは地域活性化手法の最たるものの。イベント実施により良い意味で地域の悪あがきを行い、地域を盛り上げ活性化を図る。			
		目標数値			360	実績数値	343		目標数値	実績数値	実施方法①								実施方法②					
																				現行どおり				

団体名： 西尾みなみ商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価														備考						
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等							
地域懇談会事業	これからの地域経済の振興についての地域懇談会を開催し、地域の実態把握とともに、地域経済振興に向けた対応を検討するなど、地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域振興と地域商工業の発展に寄与する。	・西尾市、西三河地域での様々な地域懇談会に参加 22件 ・西三河地区商工会で開催する職種別会議等に参加 27件 ・その他地域ごとの問題について協議する検討会に参加 13件 ・市の地域振興事業へ参画 16件	市内及び西三河地域の商工団体等	指標	地域懇談会出席回数 (達成度 156.0 %)			指標	(達成度 %)			西尾市観光・スポーツ・文化共創協議会「西尾市TSCボード」が新たに発足し、それに参画したため西尾市との繋がりがさらに強化された。またその他の地域懇談会に積極的に参加し、情報交換を行い、広域での地域経済の発展に寄与することができた。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	広域連携はこの地域でも必要不可欠になってきている。広域経済の発展がこの地域の発展に繋がるよう連携を深めていきたい。	○
				目標数値	50	実績数値	78	目標数値	実績数値	目標達成度	必要性						現行どおり		実施方法①	実施方法②				
				現行どおり	現行どおり																			
商業活性化事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元中小業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながるようにキラット商品券発行事業やプレミアム商品券事業、さらには街路灯の維持管理を実施し、地元業者の活性化、街づくりに寄与する。	キラット商品券発行事業 1,245,000円分発行 街路灯維持管理事業 街路灯 431本	地区内商業者	指標	商品券発行目標額 (達成度 249.0 %)			指標	街路灯維持管理本数 (達成度 97.5 %)			街路灯事業により町の景観が整備され、街路灯のLED化で街を明るく照らすことにより安心、安全な街づくりに寄与できた。 キラット商品券発行事業はコロナ以降、町内の各種団体の利用が増え、予想はるかに上回る発行高となった。わずかながら地元商業者に還元できたのではない。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	一部の街路灯を除き、LED化が更に進んだ。ただし、事業廃業者が増えており、今後も街路灯は減少傾向にあるが、町の安全・安心を守るためにも引き続き継続していく。	○
				目標数値	500,000	実績数値	1,245,000	目標数値	442	実績数値	431						目標達成度		必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②		
				現行どおり	現行どおり																			
産業団体等指導事業	各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては商工業の活性化に資する。	・西尾労働基準協会 吉良分会の事業支援（会員数81件） ・西尾労働基準協会 幡豆分会の事業支援（会員数33件） ・吉良ガス協同組合の事業支援（会員数4件） ・吉良町商業協同組合の事業支援（組合員数29件） ・吉良平成会59件） ・商工平成部（21件） ・吉良・幡豆まづくり協議会の事業支援（30件）	左記団体の構成員	指標	左記団体の構成員数 (達成度 108.4 %)			指標	(達成度 %)			ほぼコロナ前の事業活動を行うことができた。各種業界団体、協同組合、地域貢献団体の支援することにより、同業種及び異業種間での意見交流が商工会を通して活発に行われ、地域社会の貢献や発展の一助となり、地域の活性化に繋がることができた。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目的をある程度共有化している団体事業は、参加者も多く充実した事業も行える。地域の活性化には欠かすことができないと考え、今後も引き続き支援していきたい。	○
				目標数値	237	実績数値	257	目標数値	実績数値	目標達成度	必要性						現行どおり		実施方法①	実施方法②				
				現行どおり	現行どおり																			
産業活性化事業	吉良地区、幡豆地区の地域資源の活用や、キッチンカーを有効利用して特産品及び観光のPRなどを行い、企業の発展や地域産業の活性化に資する。	・吉良花火大会 2日 ・ハワイアンフェス 0日 ・西尾市親善市町物産展への出席 9日 ・市内・西三河管内の観光事業関連会議への出席 3日	地区内商工業者	指標	観光PR回数・関連会議出席延べ日数 (達成度 73.7 %)			指標	(達成度 %)			イベントの継続により、また従来から販売してきた茶うどん他、新たに開発したジェラートのさらなるPRにより、抹茶だけでなく西尾のお茶を周知することができ、地域の活性化へ繋げることができた。ハワイアンフェスティバルが荒天のため全日中止となった。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	特産品や観光資源など地域の特徴をPRすることは、地域活性化の基本と考え、導入した移動販売車を使い、今後も積極的に実施していきたい。	○
				目標数値	19	実績数値	14	目標数値	実績数値	目標達成度	必要性						現行どおり		実施方法①	実施方法②				
				現行どおり	現行どおり																			
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	・労働保険事務組合委託事業者の労働保険事務 ・労働保険事務組合委託事業者の労働保険料納付事務 (委託事業者数131件)	労働保険事務組合西尾みなみ商工会への委託事業所	指標	委託事業所数 (達成度 102.3 %)			指標	(達成度 %)			人的、時間的に制限の多い中小企業者の労働保険事務を委託し、代行することにより中小企業者の事務処理の負担を軽減するとともに、労働保険の適正な運用を図ることができた。		総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	労働保険加入要件を理解していない事業者もかなり多いため、加入推進を図り、労働保険事務委託事業の周知を実施していく。	○
				目標数値	128	実績数値	131	目標数値	実績数値	目標達成度	必要性						現行どおり		実施方法①	実施方法②				
				現行どおり	現行どおり																			

団体名：西尾みなみ商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価																	今後の展開・改善点等	備考		
				目標①				目標②				得られた効果	ABCD評価											
				指標	商工会報等情報提供回数 (達成度 111.1 %)			指標	(達成度 %)				総合評価	A	事業実施評価の B 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足 行政や他の団体と連絡を取りながら情報提供を実施。	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②				
目標数値	9	実績数値	10		目標数値		実績数値																	
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策に反映するため、また、関連施策の利用を促すため、制度を中心とした広報を発行し、幅広い周知を図る。	・商工会報 年2回発行 ・情報提供 年8回	地区内商工業者	指標	外国人受入事業 韓旋事業所数 (達成度 100.0 %)				指標	(達成度 %)				外国人実習生受入事業を行うことで、慢性的な人材不足の解消を図ることができた。今後周知を図り、さらにその輪を広げて行きたい。	総合評価	A	事業実施評価の A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	外国人実習生受入については、徐々にではあるが増加しつつあり、今後も積極的に行っていきたい。	○
人材育成事業	人材育成に関する事業を実施することにより、優秀で地域を担っていく人材を育成、一方、慢性的な人材不足を補うため、外国人実習生受入事業の推進を図り、将来的な商工業の発展や地域の活性化を図る。	・商工会珠算検定 廃止 ・各種検定事業の紹介 韓旋(随時) ・外国人技能実習生 韓旋事業 (外国人受入事業韓旋事業所数 5件)	地区内商工業者及び地域住民	指標	外国人受入事業 韓旋事業所数 (達成度 100.0 %)				指標	(達成度 %)				外国人実習生受入事業を行うことで、慢性的な人材不足の解消を図ることができた。今後周知を図り、さらにその輪を広げて行きたい。	総合評価	A	事業実施評価の A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	外国人実習生受入については、徐々にではあるが増加しつつあり、今後も積極的に行っていきたい。	○
福利厚生事業	各種共済制度の普及により中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図り、企業の健全な育成に資する。	中小企業共済 604件 中小企業PL保険 15件 愛知火災共済 15件 小規模企業共済 213件 セーフティ共済 11件 特定退職金共済 10件 キュービクル韓旋 2件 中小企業退職金 6件 容器リサイクル 2件 ビジネス総合保険 43件 業務災害保険 40件 健康診断事業の実施 275名	地区内商工業者及びその従業員	指標	各共済加入者合計 (達成度 113.1 %)				指標	健康診断参加人数 (達成度 98.2 %)				商工業者に必要と思わる共済や従業員の福利厚生に役立つ共済の加入促進を行い、企業の安定的な発展を図る一助となった。	総合評価	A	事業実施評価の B 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 上げる 実施方法① 変更する 現行どおり	目標② 実施方法② 現行どおり	共済加入や健康診断の実施は、小規模事業者の従業員の福利厚生を図る意味でも、さらに推進していきたい。自己財源の確保からも共済推進は重要であるため、役員にもさらに協力を願っていく。	○
税務関係団体指導事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	・きは青申告会との共催による記帳指導会の実施 11回 ・きは青色申告会の事務支援 会員数 179名 ・西尾法人会幅豆支部の事務支援 会員数 93名 ・西尾法人会吉良支部の事務支援 会員数 184名 ・きは青色申告会 ・西尾法人会吉良支部 ・西尾法人会幅豆支部の実施する講習会、研修会事業の支援	きは青色申告会、西尾法人会吉良幅豆支部会員	指標	青色申告会・法人会 会員数 (達成度 99.1 %)				指標	(達成度 %)				地域の税務支援団体である青色申告会や法人会事業のサポートを行うことにより、事業者に適正な税務申告の意識を植え付けるとともに、地域社会への貢献や発展の一助とすることができた。またインボイス制度の浸透を図ることもできた。	総合評価	A	事業実施評価の B 目標達成度 B	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足 事業所の高齢化により、事業を縮小している人も多く、税理士離れが進んでいるような気がする。	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	決算・確定申告事務は事業を行っていくうえで避けては通れず指導への要望は多い。また適正な税務申告は行政が一番望むところでもある。両者の意向をくむ意味でもこの事業は重要なものとする。	○
部会・委員会事業	商業・工業などの各部会や小規模企業振興委員会などの部会・委員会活動を行い、部会・委員会参加企業の発展に資する。	工業部会研修会 1回 商業部会研修会 1回 工業建設委員会 2回 商業観光委員会 0回 小規模企業振興委員会 1回	各部会・委員会構成員	指標	各委員会開催回数 (達成度 125.0 %)				指標	(達成度 %)				日帰り研修の実施により各種業界団体、協同組合、業種及び異業種間での意見交流が活発に行われ、地域社会の貢献や発展の一助となり、地域の活性化に繋げることができた。	総合評価	A	事業実施評価の B 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足 会員からの要望が最も多かった事業を実施できた。	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	委員会事業は会員のニーズを把握する一つの方法でもあるため、商工会事業の魅力高める意味でも継続して実施していく。	○
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	・青年部例会 3回 (親睦交流事業) 参加者 57名 ・女性部例会 1回 (親睦交流事業) 参加者 21名	青年部・女性部部員	指標	青年部・女性部事業 参加延べ人数 (達成度 130.0 %)				指標	(達成度 %)				青年部・女性部とも懇親活動は計画通り実施できた。両部とも工夫を凝らした事業内容により、部員間での親睦事業や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、部員自らの人間性を大きくすると共に地域社会の発展に寄与することができた。	総合評価	A	事業実施評価の A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	青年部・女性部事業の親睦交流事業は組織力強化には欠かせないが、そういった交流事業から地域振興事業や研修会等にシフトすることで、さらなる組織力強化を目指すしていきたい。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。